



全国高校選抜大会優勝者

喜びと決意を表明

県教育長表敬

今春開かれた全国高校選

果たした。

抜大会の優勝者が23日、県教委に淀谷圭三郎教育長を訪ね、日本一の喜びを報告するとともに一層の飛躍を誓った。写真。

県勢は3競技で2団体3個人が優勝。団体は、ソフトテニス男子で尽誠学園が4連覇を達成し、空手男子組手で高松中央が7年ぶり2度目の頂点に立った。個人は、自転車女子ケイリンで井関文月さん(高松工業)が、空手組手で男子61kg級の中村太洋さん(高松中央)と女子53kg級の林愛彩さん(同)がそれぞれ初優勝を

この日は選手18人と各校の指導者や校長が訪問。選手らは大会を振り返り、井関さんは「日々、支えてくださっている保護者の方々や先生の思いを背負ってレースを楽しめた」と声を弾ませ、団体優勝にも貢献した中村さんは「去年3位の個人で優勝でき、団体戦でもライバル校から(王座を)

取り返せてとてもうれしかった」と喜んだ。

今後に向けては、尽誠学園男子ソフトテニス部の丸田貴士主将が「インターハイ、国スポとの三冠を目指す」と抱負。高松中央男子空手部の三木統嗣主将は「夏は団体3連覇が懸かっている。挑戦する気持ちを持って頑張る」と力を込め、林さんは「インターハイは個人、団体で優勝を目指す」と決意を述べた。

淀谷教育長は「高い目標に向かって研さんを積み、夏のインターハイはもちろん、国際大会での活躍も期待している」と激励した。